

# 柱2 学びの接続プラン

子供が夢を描き、希望を持続させていくためには、発達や成長に即した適切な支援や教育、環境づくりを行っていく必要があります。接続プランでは、幼稚園から義務教育修了までの子供の心身の健やかな育成を目指して、主に次の5から8の取組を重点的にを行います。

## ★ 接続プラン① 幼児教育と小学校教育との学びと生活の接続

### 取組5 小1プロブレム対策(幼・小学びの接続)



- ・幼稚園3歳児から小学校入学後までを接続期ととらえ、その成長過程において必要な遊びや体験を存分に行うことで、知・徳・体のバランスのとれた発達を促します。これにより、小1プロブレムの課題の解消を目指します。
- ・各幼稚園では、アプローチカリキュラムを基盤に、地域性や特色を生かした保育を展開します。
- ・**モデル園**での研究実践を、広く市内公立幼稚園に普及し、各園で、幼稚園と小学校教育の学びの接続を図る研究を進め、幼稚園における教育の一層の充実と小学校との円滑な学びの接続を目指します。

### 取組6 発達障害児支援システムの構築



- ・5歳児相談事業によって関係機関との連携を深めながら、発達障害児の早期発見に努めます。また、幼稚園・小中学校における特別支援教育の充実を図り、子供がおかれている状況や課題を客観的にとらえ、就学直後から個の教育的ニーズに応じた適切な指導支援を行うとともに、学校卒業まで障害に応じたきめ細かな指導が行えるよう体制整備を進めていきます。

## ★ 接続プラン② 小学校教育と中学校教育の円滑な接続

### 取組8 小中一貫教育の推進



- ・平成29年度伏虎義務教育学校が開校します。今後の和歌山市における学校教育の**パイロット校**としての役割を担います。それに向け、学力向上はもとより、生活指導面や心の育成面などにおいて、9年間という長いスパンで子供の成長に合わせながら、じっくり指導を行う新たな教育課程の編成に向けた**調査研究**を行います。

### 取組7 中1ギャップ対策



- ・**小学校高学年から中学校へのスムーズな接続をめざします。**一つの教科指導に責任をもつ体制(専門的指導)をつくることで、教員が自らの資質・能力の向上や開かれた学級経営を行うとともに、基礎・基本の徹底に重点をおいた指導を実施し学習意欲や学力の向上、学校生活の充実を図り、中1ギャップの課題の解決を目指します。

平成29年度

30年度

実践

31年度

改善・深化

32年度 定着・発展

33年度

### 取組5 小1プロブレム対策(幼・小学びの接続)

幼・小学びの接続モデル事業の実践研究の成果を生かした各園での取組の推進

アプローチカリキュラムを基盤に幼稚園と小学校教育の学びの接続を図る研究を深化

各幼稚園、小学校低学年において幼小接続を考えた教育を展開

小1プロブレム等の課題解決

### 取組6 発達障害児支援システムの構築

幼稚園、学校、家庭、関係機関等と連携した個に応じた適切な指導支援の実施  
保健所及び小児成育医療支援室による発達相談や園訪問の実施

関係機関と連携した幼稚園、小中学校における特別支援教育の充実

就学前から学校卒業までを見通した個別の教育支援計画の充実

個のニーズに応じた教育の実現

### 取組8 小中一貫教育の推進

9年間のスパンで行う**小中一貫教育校「伏虎義務教育学校」の開校・実践**

成果と課題について改善と一層の充実へのプランを立てる

中1ギャップ等の課題解決

### 取組7 中1ギャップ対策

小学校での教科担任制研究

接続プラン  
タイムテーブル